



さとう 良

県政レポート2018

ごあいさつ



日頃より私の政治活動に深いご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。お陰様で政治生活も今年で12年目を迎えることが出来ました。これも偏に長年にわたる皆様のご支援の賜物と心より感謝致します。

今年を振り返れば、大阪北部地震や記録的な猛暑、最近でも北海道胆振東部地震など災害が多発し、多くの尊い命や甚大な被害が発生しました。犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げ、1日でも早い復旧を願います。

そのような中、本県でも、「県民の安全・安心の確保」を最優先に、早急に必要な対策を講じ、県民の不安を払拭することが重要です。また、急速な少子高齢化・人口減少が進行する中、地方創生に向けた更なる取組と「選ばれる tochigi」を実現していくかなくてはなりません。県議会としても任期も残すところわずかとなりましたが、初心を忘れることなく、栃木県、地元壬生町発展のため、未来への責任を果たすべく、今後も全力で活動してまいりますので、引き続きの皆様の温かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

経歴

昭和54年5月5日生まれ(39歳)
壬生小、壬生中、國學院大學栃木高校を経て、
玉川大学工学部経営工学科を卒業後、飛島建設株式会社に勤務。
衆議院議員 川崎二郎、衆議院議員 佐藤勉 秘書として政治を学ぶ。
平成19年4月 栃木県議会議員に当選(現在3期目)
経済企業、文教警察、生活保健、各委員会の委員長、監査委員を歴任。

主な活動

栃木県議会	生活保健福祉委員会 委員長 予算特別委員会 委員
とちぎ自民党	事務総長 青年部長 学生対策部長

県議会一般質問

● 紙面の都合上、質問・答弁の全容については栃木県公式ホームページをご参考ください。
http://smart.discussvision.net/smart/tenant/pref_tochigi/WebView/list.html

第352回

通常会議
平成30年9月

- 1 地方創生の実現に向けた今後の取組について
- 2 「いちご王国」の更なる発展について
- 3 地域防災力の強化について
- 4 森林・林業に関わる人材の確保・育成について

- 5 大規模災害時における福祉的支援体制の整備について
- 6 海外との友好交流の取組について
- 7 社会資本の適切な維持管理について
- 8 老朽化した交通安全施設の更新整備について

第341回

通常会議
平成29年2月

- 1 安心して暮らせるふるさととちぎづくりについて
- 2 とちぎ材の利用拡大について
- 3 救急搬送の充実強化に向けた対応について
- 4 結婚支援の取組について

- 5 空き店舗を活用した創業支援について
- 6 フィルムコミッショングの活用による観光振興について
- 7 「いちご王国とちぎ」の積極的な発信について
- 8 本県の成長を支える道路整備について

第333回

通常会議
平成28年2月

- 1 とちぎブランドの確立に向けた取組について
- 2 中小・小規模企業の振興について
- 3 地方創生に向けた外資系企業の誘致について
- 4 とちぎの文化の振興について
- 5 少子化対策について
 - (1)結婚支援の充実について
 - (2)妊娠・出産への支援充実について
- 6 本県農産物の輸出拡大について
- 7 県営都市公園の魅力アップに向けた取組について



平成30年度 補正予算

とちぎ自民党 22億5,000万円上乗せ。総額57億1,300万円の補正予算が成立。

平成30年度9月補正予算の編成に当たっては、「県民の安全・安心の確保」を最優先に、早急に必要な対策を講じ、県民の不安を払拭とともに、県内の経済活性化等、直面する喫緊の県政課題に的確に対応すべく、必要な予算措置を要望した。福田富一知事からは、自民党が要望した予算要望事項・重点事業等について、22億5千万円の上乗せ要望も含め満額の回答があった。

主な事業と内容

●緊急防災・減災対策:14億円

自然の猛威から県民の生命・財産を守るため、河川の氾濫や土砂崩れ等の不測の事態に備え、防災・減災対策に積極的に取り組み、災害に強い県土づくりを推進する。

●公共事業関連調査:3億円

今後の緊急防災・減災対策に迅速に対応できるように、防災減災調査、用地調査、砂防調査などの測量や設計を事前に行う。

●学校空調設備整備:5億円

この夏の猛暑を踏まえ、生徒の健康保持のためには、空調施設が必要不可欠な状況となっていることから、普通教室にエアコンが設置されていない学校に来年夏に使用できるよう整備する。

●学校施設長寿命化推進:5,000万円

長寿命化計画に位置づけられている施設のうち特に老朽化が著しい物件の整備を、計画を前倒して整備する。

●学校等ブロック塀緊急対策:8億円

大阪府北部地震により、学校ブロック塀の倒壊で児童の尊い命が奪われた。本県の学校等で、設置年次が古く、現行法令の基準に適合しないブロック塀等について、早急に改修する。

●農業農村整備:8億9,000万円

農業の担い手が減少する中、農地の大区画化や老朽化した農業水利施設の長寿命化、耐震化を推進し、農地の集積・集約化を進め、地域農業の生産性向上を図る。

議会改革

「栃木県議会災害対応計画」を策定

自然災害が多発する中、災害が発生した際に、県議会として県民の生命、財産、安全等を守るために、迅速に対応できるよう「栃木県議会災害対応計画」を策定しました。本計画では、円滑に議会運営等の正常化を図るため、情報を一元的に集約・管理する体制の構築や議員行動の在り方等を定めています。



この4年間の主な実績（壬生町）

栃木県 羽生田産業団地への大手企業の誘致

壬生町発展のために進めてきた、栃木県の産業団地である羽生田産業団地に大規模な企業の進出が決まりました。今後は、町民の雇用と税収増が見込まれます。



下稲葉地区における大型圃場整備事業の開始（県単事業）

農業従事者の減少と担い手不足を背景に、農地の集積、大区画化を図ることで、経営規模の拡大や労働時間の短縮、生産費の削減し、農地の多面的な利用と営農の効率化を目指します。

県道 羽生田・上蒲生線の4車線化、拡幅整備の実施（県単事業）

4車線化への道路整備で、生活の利便性と経済効果が期待され、壬生ICから羽生田産業団地へのアクセスが飛躍的に向上しました。



おもちゃのまち地区でのまちづくりの推進

おもちゃのまちの地名を生かしたイベントの開催や獨協医科大学内に大型ホテルの開業（県内最大の客室数）を推進しました。



今後の課題（壬生町）

壬生町新庁舎の建設

築60年が経過する庁舎の老朽化に伴い、国の支援を活用し、災害に強く、防災の拠点となり、町民に親しまれ利用しやすい庁舎の建設を推進します。

庁舎跡地の活用

現庁舎跡地を有効的に活用し、中心市街地の活性化を図る、人にぎわう拠点づくりを目指します。

六実北部地区における区画整理事業

市街地の区画を整理し、道路の拡幅や雨水対策などインフラを整備することで、新たな市街地を作り、壬生町の発展を目指します。

さとう良 県政レポート2018

討議資料